

はじめに

今日の少子高齢化、地域社会の教育力の低下など学校教育を取り巻く社会的環境が大きく変化する中で、児童生徒にも、学習意欲の低下や家庭での学習習慣の未定着、社会規範の弱さなどの課題が見られます。加えて、中学校への進学に際し、学習内容や指導などの変化に戸惑いや負担を感じている児童生徒も少なくありません。

宇治市教育委員会は、小学校から中学校へのなめらかな接続と義務教育9年間の連続した学びの中で、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるとともに一人一人の個性や能力を伸ばすことをめざして、本年度4月からすべての市立小・中学校で小中一貫教育を全面実施しました。

この節目に当たって、実施時点での意識や現状を把握することをねらいに、昨年6～7月に「宇治市小中一貫教育についてのアンケート」を、すべての市立小・中学校の児童生徒と保護者、及び、市立小・中学校を対象に実施しました。

今回のアンケートは本市が進める小中一貫教育の進捗状況を把握し、さらに進めていく際の成果指標と位置づけ活用したいと考えています。

最後になりましたが、本アンケートにご協力いただきました児童生徒や保護者の皆様方、学校関係者の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成25年3月

宇治市教育委員会